



市議会だより

□発行日 平成22年(2010年)11月1日 □編集と発行 泉南市議会報編集委員会 泉南市樽井一丁目1番1号 TEL. 072-483-0008 FAX. 072-484-2085

市議会ホームページもご覧ください。 <http://www.city.sennan.osaka.jp/~gikai/>

泉南市議会 検索



▲市制施行40周年記念パレードの様子

▲市中心部とりんくうタウンを結ぶ樽井大橋

平成22年第3回(9月)定例会

財政再建へ決意

市職員給与、市長など特別職の退職手当を減額

も	一般質問 市政全般に対する各議員の質問	2 3
	委員会審査の概要 各委員会で審査されたおもな議案の審査概要	4 5
く	本会議での審議結果	6
	委員会視察調査報告	7
じ	会議結果、議会のうごき	8

第3回(9月)定例会 一般質問

あんなこと
こんなこと **ズバリ!** 聞きました!

今定例会では、15人の議員が教育や福祉、財政問題など市政全般に対し、一般質問を行いました。



大森 和夫
おおもり かずお
日本共産党

- ① 新家駅の海側に早期に改札口設置を求める＝JRに粘り強く働き掛けると答弁
- ② 新設幼稚園の保育室にクーラー設置を求める＝来年夏までに設置を目指すとの答弁
- ③ 泉南アスベスト国賠訴訟について＝国に早期解決を求めると答弁
- ④ 学校図書館の充実を求める



成田 政彦
なりた まさひこ
日本共産党

- ① 火葬場建設計画は500億円以上も借金があるので、財政状況も考えて樽井火葬場の改修を含めて、慎重に検討すべきだ
- ② 市民のくらしが大変な時に、保育料金、国保税、水道料金の値上げを4年に1回することは、市民負担を強めることになるのでやめるべきだ
- ③ 遅れている市道のバリアフリー化を進めるべきだ



和気 信子
わけ のぶこ
日本共産党

- ① 保育料大幅値上げ問題について
- ② 樽井保育所の耐震化では保育場所の安全を、他の保育所も耐震化を
- ③ 乳幼児通院医療費助成を就学前まで早急に拡充を
- ④ 児童虐待防止の対策の充実を
- ⑤ 高齢者の生きがいと地域福祉の拡充と孤独死防止対策について
- ⑥ 緊急通報装置設置事業の充実について



松本 雪美
まつもと せつみ
日本共産党

- ① 高すぎる国保税に払えないと悲痛の声がある。国保会計へ繰り入れて値上げせず市民負担を軽減せよと質問。市長は、繰り入れしない。広域化は賛成と答弁。
- ② ワクチン接種で子宮頸ガンの70%は予防できる。費用は5～6万円と高額。市助成でのワクチン接種に市は検討すると約束。



梶本 茂麿
かじもと しげみ
地方民会

1. 泉南市行政改革集中改革プラン中間報告について
- ① 今回の報告内容について
- ② 平成23年以降の集中改革プランの作成について
- ③ 今後の普通建設事業の進め方について
2. 指定管理者制度について
- ① 指定管理者の第三者評価について
- ② 指定管理者制度の今後と、それ以外の導入の可能性について



井原 正太郎
いはら しょうたろう
公明党

- ① 上下水道事業の財政健全化と水害防止対策について
- ② 国保の総合ドック事業についてと市民負担の有り方について
- ③ 首池の将来像についてとゴミ減量施策の今後について
- ④ 火葬場の将来と、樽井・西信達地区への対応について
- ⑤ 新行財政改革プランについて



中尾 広城
なかお ひろき
公明党

- ① 小児医療体制～休日夜間診療所構想とドクターカー事業について
- ② 教育における不登校問題と中1ギャップについて
- ③ セカンドブック事業について
- ④ 文化協会設立35周年記念事業について
- ⑤ 一丘区再生問題について
- ⑥ りんくうタウン企業との情報交換について



竹田 光良
たけだ みつよし
公明党

- ① 新家駅前の安全対策について
- ② コミュニティバスの4台化と新しい巡回コースの設定について
- ③ 泉南市の新しい福祉について
- ④ うつ・DV・児童虐待について
- ⑤ 高齢者の安否確認について
- ⑥ 鳴滝第一・第二小学校の統合について
- ⑦ 幼稚園2園化における安心安全と幼稚園教育について



原 憂子
はら ゆうこ
公明党

- ① 今年度の乳がん・子宮頸がん無料クーポンについてと子宮頸がんの予防ワクチンについて
- ② 高齢者へのふれあい収集の現状と今後及び施設内不在者投票のあり方と徘徊SOSネットワークについて
- ③ 太陽光発電対策への現状と今後
- ④ ひとり親家庭への支援について
- ⑤ 留守家庭児童会について



真砂 満
まさご みつる
拓進クラブ

- ① 幼稚園2園化の工事進捗と空調、バス等について
- ② 鳴滝第一・第二小学校統合の地元合意及び工事進捗について
- ③ 地域(住民)自治について
- ④ 保育所における給食管理について
- ⑤ 学校給食委託契約について
- ⑥ 高齢者の生きがいと街の活性化について
- ⑦ 行財政について



北出 寧啓
きたで やすひろ
地方民会

- ① 泉南市の河川の自然保全の現状認識と今後のあり方について
- ② 行政評価と人事考課の現状と課題について
- ③ 子育て支援の現状の問題点と今後の政策展開について
- ④ コミュニティの現状とリベラリズムの地域再生の政治哲学について



河部 優
かわべ まさる
拓進クラブ

- ① 全国学力テスト結果の課題と施策について
- ② 鳴滝第一・第二小学校統合の進捗について
- ③ 鳴滝第一小学校跡地の活用方策について
- ④ 公立中学校における給食実施について
- ⑤ 街かどデイハウス事業の成果について
- ⑥ CSW事業の活用実態について
- ⑦ 児童虐待を防止する連携と事業について
- ⑧ 子どもの権利条例の制定に向けた進捗について



小山 広明
こやま ひろあき
無所属

先の市議補選の6票差当落で古谷氏の異義申立は市選管は却下、府に訴え全票点検で28票の訂正。市選管事務局は理由を限られた時間と答弁。国政も含め総てが同様だったのではと思う。市選管の対応は不十分で徹底検証が求められる。引き続き取り組んでいきたい。



森 裕文
もり ひろふみ
地方民会

- 1. 地域コミュニティについて
 - ① 新しい地域コミュニティの創生について
 - ② 泉南市自治基本条例について
 - ③ 事務委託料について
- 2. 地域社会と危機管理について
 - ① 家庭レベルでの個別対策について
 - ② コミュニティによる防災への取組について
 - ③ 樽井5丁目床下浸水について
 - ④ 防災まちづくりについて



角谷 英男
つや ひでお
市政研究会

- ① 新設幼稚園及び一丘幼稚園のクーラー設置について
- ② 支援学校の現状と今後について
- ③ 樽井駅のバリアフリー化の推進と海側改札口の設置について
- ④ りんくうタウンの定期借地について
- ⑤ りんくうタウンの活性化と雇用促進について



写真は市制施行後、はじめての市議会議員選挙によって、当選した市議会議員の集合写真です。(昭和47年)

市議会も四十年

泉南市政とともに歩んできた市議会も、世代を超え、時代を超え、今年、四十年を迎えました。人間でたとえれば、四十才。バリバリ働き盛り。周囲からも大きな期待が寄せられる年代でもあります。市議会には、皆さんの要望や期待にこたえるため、これまでの議会運営を見直し、さまざまな取り組みを行ってまいりました。たとえば、時代を反映したインターネット中継や市役所玄関ロビーでのテレビ中継、政務調査費の領収書の原本添付など議会改革に取り組みできました。これまでも、これからは皆さんに信頼されるよう議会改革を進めます。

委員会報告

主な議案の審査概要

本会議に提案された議案は、委員会に付託され、専門的、集中的に審査が行われます。

総務文教

常任委員会

9月14日に委員会を開催し、議案3件の審査を行い、すべて可決しました。

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 条例改正による削減額は？

答 今回の条例改正によって、職員給与が平成22年10月から平成26年9月までの4年間に限り、3%から6%削減され、一般職と教育職を合わせ、年間約1億2千万円の削減となり、4年間で約4億7千万円が削減されます。

問 これまで行ってきた行財政改革で、職員定数の適正化や繰り替え運用の見直しなど目標を達成しつつある中、今後の行財政改革の方向性は？

答 これまでの行財政改革の取り組みにより、財政再建団体への転落は避けられたものの、依然として厳しい財政運営を強いられ、安定した財政基盤の確立のため、引き続き

き、行財政改革に取り組み必要があります。来年度の予算編成に当たっては、基金の繰り替え運用を前提とした財政運営ではなく、将来にわたる持続可能な財政運営を目標に、起債の発行を抑制する中で、将来負担を軽減し、また、人件費の抑制についても、職員定数の適正化を図り、平成27年4月には490人まで削減を進め、保育所の民営化の推進やごみ収集業務の完全民営化の検討など、事業費の圧縮に努め、歳出を抑制し、市民生活に影響を与えないように努力していきます。

特別職等の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 近隣市の市長の退職手当の額は？

答 高石市では約2088万円、泉大津市は約1315万円、岸和田市で約2376万円、貝塚市で約1382万円、泉佐野市で約2064万円、阪南市は現在の市長の任期中は支給しないこととなっており、改正後の本市の退職手当の額は、873万6千円です。

厚生消防

常任委員会

9月15日に委員会を開催し、議案2件の審査を行い、すべて可決しました。

泉南市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について

問 今回の改正により住宅用防災警報機の設置の免除についての変更が行われているが、具体的な内容は？

答 「住宅の部分に共同住宅用スプリンクラー設備を特定共同住宅等における必要とされる防火安全性能を有する消防の用に供する設備等に関する省令」の改正に伴い上程したものであり、具体的には社会福祉施設が一般の住宅の中に出現してきたということを踏まえ、省令の一部追加改正が行われ、条項ずれが生じたものであります。

問 住宅用の防災警報機についての本市での普及率は？

答 一丘区を除く32区及び各地区の自治会への普及活動を行的っており、普及率は62%となっております。

産業建設

常任委員会

9月16日に委員会を開催し、議案1件の審査を行い、可決しました。

大阪広域水道企業団の設置に関する協議について

問 なぜ今、企業団が必要なのか？

答 各市町村で水の需要が減りつつある中、安定した水道水を供給するため、企業団を設置し、効率的な運営を図っていく必要があるからです。

問 府内の市町村水道の統合にあたり、現状と課題は？

答 各市町村に係る料金体系の解決を行い、広域化を図った上で、最終的に府内1水道になる予定ですが、各市町村ごとに料金体系に違いがあり、また、財政状況の関係もあるため、各市町村で十分に議論をする必要があります。



平成22年度 予算審査特別委員会

審査の概要と結果

平成22年度予算審査特別委員会では、本会議で付託された議案7件の審査を9月17日に行い、全て原案どおり可決しました。

平成22年度 一般会計補正予算

歳入

問 退職手当負担金として1280万円が計上されているが、水道事業会計に与える影響及び今後の見通しは？

答 この負担金は、水道部への在勤年数に応じて退職手当の按分をしており、これは、水道事業が独立採算制をとっていることから応分負担しているもので、今後においても続けていく予定です。

また、この負担金が水道事業会計に与える影響については、経費面では影響はあるが、職員の退職手当については、必要経費であると考えます。

歳出

問 新火葬場計画に至るまでの経緯について、泉南聖苑の経過を踏まえ、地元説明について経過概要は？

答 泉南聖苑については、火葬場と墓地を計画しており、これまで六尾や金熊寺地区を中心に説明を行い、他市の火葬場の見

学も行ってきました。しかし、市の厳しい財政状況を考え、事業を凍結し、現在に至っています。

また、新火葬場計画については、通行ルートである六尾地区の区長に対し、事業調査を行うことを説明しており、9月10日に開催された区長連絡協議会幹事会において、通行ルートに関する問題や山手地区に至った経過などの説明を行いました。

討論

反対討論 在勤年数に応じて、退職手当を水道事業会計と按分することについては、水道会計を圧迫し、水道料金に跳ね返えるものである。また、人件費を削減し、職員に負担を与えているのにもかかわらず、財政状況は依然として厳しく、職員のモチベーションを下げるべきではない。そして、新火葬場計画、債務負担行為における幼稚園バス運行委託料についても、説明が不十分であることから、市民にきちんと説明をする必要があることから、反対する。

賛成討論

教育予算では、これまで議会から指摘されていた公共施設の下水道管の接続について、鳴滝第二小学校の目途がついたことや、東南海地震の発生の際には避難場所となる学校施設の耐震化が図られるなど、評価するものである。また、新火葬場については、PFI等の導入の可能性の調査委託料が計上されており、既存の火葬場の老朽化が進む中、新火葬場に対する市民の期待も大きいものがある。しかし、これまでに議会へも予算が提案され、詳細な計画まで示されながら、付帯決議をされ、凍結状態である市営宮本住宅の立て替え計画も、また、喫緊の課題である。厳しい財政状況の中、これからの事業展開に当たっては、財政シミュレーションを行ない、緊急性、必要性、代替性などを考慮し、市民の幅広い要望にこたえることを望み、本補正予算に賛成する。

採決

賛成 河部、中尾、森、角谷、南
反対 大森、成田

平成22年度水道事業 会計補正予算

反対討論 退職手当負担金1280万円は、水道料金に影響を与え、市民に大きな負担を与えるため反対する。

採決

賛成 河部、中尾、森、角谷、南
反対 大森、成田

このほか国民健康保険、下水道、後期高齢者医療等各予算については、討論はなくすべて全会一致で原案のとおり可決しました。



第3回(9月)定例会

本会議

委員会の審査を経て、本会議で採決した主な議案の結果です。

平成22年度一般会計補正予算 3億9216万円を可決

一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

内容 市財政の状況を考え、平成22年10月1日から平成26年9月30日までの間、職員の給料月額を減額するものです。

賛成 河部、梶本、原、中尾、木下、真砂、森、竹田、井原、谷、角谷、北出、南

反対 和氣、大森、小山、成田、松本

特別職等の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について

内容 市財政の状況を考え、平成22年10月1日から市長、副市長、教育長の退職手当を減額するものです。

賛成 河部、和氣、梶本、原、中尾、木下、真砂、大森、森、竹田、井原、谷、角谷、成田、松本、北出、南

反対 小山

内容 大阪府の水道事業を継承し、来年春の供給開始を目指している大阪

広域水道企業団を府内各市町村と共同して設置するにあたり、規約(案)をもって府内市町村と協議するためのものです。

賛成 河部、和氣、梶本、原、中尾、木下、真砂、大森、竹田、井原、谷、角谷、成田、松本、北出、南

反対 森

退席 森

平成22年度

一般会計補正予算

内容 ▽給与改定等による人件費の減額(▲58

80万円) ▽児童の虐待防止にかかる保育子育て事業(820万6千円)

▽火葬場建設にかかる調査委託料(650万円)

▽鳴滝第二小学校下水道整備事業(1229万円)

▽新家小学校体育館耐震補強整備事業(4860万円)など。

賛成 河部、梶本、原、中尾、木下、真砂、森、竹田、井原、谷、角谷、北出、南

反対 和氣、大森、小山、成田、松本



耐震化工事が始まる新家小学校体育館

平成22年度
下水道事業特別会計補正予算

賛成 河部、和氣、梶本、原、中尾、木下、真砂、大森、森、竹田、井原、谷、角谷、成田、松本、北出、南

反対 小山

平成22年度
水道事業会計補正予算

賛成 河部、梶本、原、中尾、木下、真砂、森、竹田、井原、谷、角谷、北出、南

反対 和氣、大森、小山、成田、松本

このほかの各会計補正予算については、全会一致で可決されました。

意見書

全会一致で可決

◆完全な地上デジタル化放送の実施に向けて円滑な移行策を求める意見書

◆子宮頸がん予防ワクチン接種の公費助成を求める意見書

◆21世紀型の公共投資の推進による景気対策を求める意見書

賛成多数で可決

◆家電エコポイント制度の再延長並びに住宅エコポイントの延長を求める意見書

賛成 河部、和氣、原、中尾、木下、真砂、大森、竹田、井原、谷、角谷、成田、松本、南

反対 小山

退席 梶本、森、北出

◆「子ども・子育て新システム」の基本制度案要綱に関する意見書

賛成 和氣、原、中尾、大森、小山、竹田、井原、成田、松本、南

反対 河部、梶本、木下、真砂、森、谷、角谷、北出

賛成少数で否決

◆民意を大きくゆがめ、少数政党を排除する衆議院比例定数削減に反対する意見書

賛成 和氣、大森、小山、成田、松本

反対 梶本、原、中尾、木下、真砂、森、竹田、井原、谷、角谷、北出、南

退席 河部

委員会視察調査報告

先進地の取り組みを視察しました

総務文教常任委員会

8月23日～24日

山口県岩国市

本郷山村留学センターについて

いじめや不登校など教育問題が山積する中、豊かな自然をいかし、心の教育、健康増進を目的として旧本郷村の事業としてはじまり、全国的にも成功した事例の一つです。事業は岩国市に引き継がれ、全国各地から小・中学生を山村留学生として受け入れ、親元を離れ、集団生活を通じ、自立育成、少人数学級による基礎的な学力向上を目指して事業を行っています。施設は平成16年に地元の木材を使った施設に生まれ変わりました。

山口県柳井市

普通教室のリースによる耐震化について

全国的にも教育施設の耐震化が遅れている山口県で、厳しい財政の中、

多額の費用を必要とする学校施設の耐震化について、早く施工でき、耐震化もある軽量鉄骨によるリース校舎による整備は全国的にも珍しいものです。建て替えや耐震補強に比べ、大幅に財政負担が軽減されることから今後、市内の他の小学校にも導入の予定です。



▲本郷山村留学センターにて

厚生消防常任委員会

7月14日～15日

愛知県田原市

たはらエコガーデン構想について

市民一人ひとりが環境に配慮したエコライフを実践し、環境との共生による豊かで持続するまち

づくりとして、「たはらエコガーデンシティ構想」を推進しており、これまでに新エネ大賞を受賞するなど、地球温暖化対策の先進的な取り組みを実践しています。

三重県松阪市

マイバック持参運動及びレジ袋削減の取り組みについて

地球温暖化と循環型社会の構築のため、市民、事業者、行政の取り組みとして、マイバック持参・レジ袋削減に取り組みんでおり、現在、三重県内では、ほとんどの自治体においてレジ袋の有料化が行われています。レジ袋の有料化によって、7ヶ月間で約1083万枚、18万人分のCO₂の削減につながっています。



▲田原市にて

産業建設常任委員会

8月19日

りんくうタウン内の

企業6社施設見学及び懇談会について

りんくうタウン内に立地する企業の施設見学を実施し、地元雇用の促進や社会見学会、職業体験の実施、行政との協働などの要望を行いました。



▲施設見学のようす

空港等まちづくり対策特別委員会

8月9日～10日

埼玉県さいたま市

さいたま市地球温暖化対策実行計画について

平成17年度に策定した「さいたま市地球温暖化対策地域推進計画」による取組を推進し、平成24年度までに温室効果ガス削減量を5%以上削減することを目指し、太陽光

発電やLED電球の普及促進、市業務における電気使用量の削減や公用車の燃料削減に積極的に取り組んでいます。

東京国際空港

羽田空港全体計画について

これまで3期にわたって拡張工事がおこなわれてきましたが、航空需要の伸びにより、発着処理能力が限界に達したため、発着制限の解消と将来の国際線需要の増加に対応するため、D滑走路の建設が行われました。

今回の拡張工事によって、国際線地区旅客ターミナルビル、貨物ターミナルやエプロンなど、国際定期便の就航に必要な機能が整備されます。



▲羽田空港(D滑走路展望台)にて

●第3回（9月）定例会で審議された主な議案と審査結果

	件名	結果
議案審議	例月現金出納検査結果報告(3件)	報告済
	平成21年度決算に基づく泉南市健全化判断比率についてほか2件	報告済
	泉南市教育委員会委員の任命について（藪内 進氏）	原案同意
	泉南市固定資産評価審査委員会委員の選任について（馬野和俊氏、峯本佳子氏）	原案同意
	大阪広域水道企業団の設置に関する協議について	原案可決
	一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	特別職等の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	泉南市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	平成22年度大阪府泉南市一般会計補正予算ほか各会計補正予算6件	原案可決
	平成21年度大阪府泉南市一般会計歳入歳出決算認定ほか各会計19件	閉会中の 継続審査
意見書	家電エコポイント制度の再延長並びに住宅エコポイントの延長を求める意見書についてほか4件 ※詳しくは6ページをご覧ください	原案可決

9月

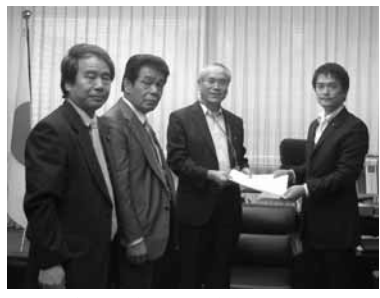
- 8日～24日 平成22年第3回（9月）定例会
- 14日 総務文教常任委員会（付託事件審査）
- 15日 厚生消防常任委員会（付託事件審査）
- 16日 産業建設常任委員会（付託事件審査）
- 17日 平成22年度予算審査特別委員会（付託事件審査）

8月

- 2日 大阪府南部市議会議長会議員研修会（高石市）
- 3日 行政視察来庁（福島県須賀川市議会）
- 9日 行政問題対策特別委員会
- 9日～10日 空港等まちづくり対策特別委員会行政視察（埼玉県さいたま市、羽田空港）
- 19日 産業建設常任委員会行政視察（りんくうタウン）
- 23日～24日 総務文教常任委員会行政視察（山口県岩国市、柳井市）

7月

- 2日 空港等まちづくり対策特別委員会
- 6日 同和更生資金貸付基金償還金調査特別委員会
- 14日～15日 厚生消防常任委員会行政視察（愛知県田原市、三重県松阪市）
- 21日 大阪府南部市議会議長会議総会
- 22日 議員全員協議会
- 28日 中央要望（下写真）
- 29日～30日 大阪府南部市議会議長会議
（福岡県糸島市、太宰府市）



▲小川淳也総務大臣政務官へ市の財政的支援について要望書を提出

●議会のうぶき●

会議のようすは、インターネット、市役所玄関でご覧いただけます。

本会議は誰でも自由に傍聴できます。

市議会の活動を知り、市政の内容をより理解していただくためにも、ぜひ傍聴してください。

また、市議会では、開かれた議会を目指して、今年3月からインターネット中継（生中継・録画）を行っています。市役所玄関ロビーでも、会議のようすを生中継していますので、市役所にお越しの際は、ご覧ください。

次の会議は12月中旬の予定です。詳しい日程は、議会事務局（072・483・0008）までお問い合わせください。

議会報編集委員会

- 委員長／河部 優
- 副委員長／原 憂子
- 委員／和氣信子
- 梶本茂麿
- 谷 外嗣
- 南 良徳